

高幡会だより

こころ 64

2020.7



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院

<http://www.onishi-hp.or.jp/>

ルピナス



牧野植物園に出かけてみました。

牧野植物園は、高知県出身の日本植物学の父と言われる世界的な植物学者・牧野富太郎（まきのとみたろう）博士の業績を顕彰する植物園です。たくさんの花々や植物に暫し時間と日常を忘れ見入ってしまいました。

写真は、淡いピンクや紫の花を咲かせるルピナス。

ルピナスの花言葉は「想像力」「いつも幸せ」「食欲」など。強く前向きな力をいただきました。



新型コロナウイルス感染症下での生活において 高齢者が気を付けるべき事（フレイルに陥らないために）

新型コロナウイルス感染症が流行し、いまだ収束の目途はたっていません。感染すれば、基礎疾患をお持ちの方や高齢者は、重症化しやすいと言われています。3密を避け感染の危険のある場所に行かない、正しい手洗いの励行など十分な感染対策が必要です。

しかし、感染を恐れるあまり、人とのコミュニケーションを過度に避けたり、外出を控えすぎたりすることで健康への影響がでてしまつては元も子もありません。このように、生活が萎縮し健康に影響を与える状況、いわゆる「生活不活化」は高齢者にとっては要介護や更に進んで寝たきりとなる入り口ともいわれています。

日本老年医学会では、健康な状態と寝たきりの状態の間を、フレイル=虚弱(きよじゃく)・脆弱(ぜいじゃく)として提唱し注意喚起しています。

では具体的にはどのようにしたらよいでしょうか。

- 座っている時間をできるだけ減らしましょう。
体操や人混みのない屋外で散歩をするなどできるだけ体を動かしましょう。
- よく噛んで、しっかりバランスのよい食事を摂りましょう。
また歯磨き等で口の中を清潔にしましょう。
- 感染対策をとったうえで、意識して人と話す機会をできるだけ多くしましょう。
知り合いや家族などに電話して会話を楽しみましょう。
- 困ったときに助け合える体制を整えておきましょう。

十分な感染症対策をとったうえで、生活不活化に陥らないよう気をつけたいものです。

詳しくは、【日本老年医学会「新型コロナウイルス感染症」高齢者として気をつけたいポイント】をご参照下さい。



Web会議システムを導入しました

新型コロナウイルスの感染対策の一つとして、在宅勤務やリモートワークが当たり前になりました。
また会議においてもWEB会議が定着してきました。



当法人においても、WEB会議システムが導入され、7月17日、県内の5病院との間でICT（感染対策チーム）合同カンファレンス会議が行われました。議題はそのものの『**新型コロナウイルス対策について**』です。

本格的な利用は導入して初めてということもあり、最初は若干の緊張と不安もありましたが、最近の機器・ソフトウェアはとても進歩しており、画質や音声も良好で全く問題ありませんでした。何度か使ううちに操作や雰囲気にも慣れるものと思います。



顔を突き合わせて行う会議と比べ、お互いに相手の微妙な表情や、全体の場の雰囲気を感じとることは少々難しく、またデバイスが間に入ることで、一段、格式張ったよそよそしいものを感じました。

いずれにしても今回のWEB会議を経験し、これからより合理的、効率的な運用の機会が増えてくると思いました。ただそれと同時に、改めて一日も早くこのコロナ禍が収束し、一堂に会して会議のできる環境が戻ることに願いを強くした次第です。

検査科 山口恭代

消防訓練

6月23日 消防訓練を昼間、2階調理準備室から出火の想定で実施。火災報知器が鳴ったため、複数の職員が現場に駆け付け確認し、事務方に火災の発生を報告。消火器および消火栓にて初期消火に努めるが敵わず避難を開始するという流れで行いました。



院長

『少し遅い部署もあったがまずまずの出来で状況把握できていたと思う。常日頃から火災が発生した時どうすればよいか考えておく事が大切』

四万十清流署消防隊員

『年2回の消防計画に基づいて訓練を実施していただいておりますが、概ね迅速的確によくできていると思います。有事の際はこのことを役立てて下さい』
『新人さんも毎年多く入職されていると思いますが、入ったら先輩方が常日頃どうしたらよいか教えてあげて下さい』



設備会社

『本体に説明が書いてあるのでよく読んでおいて下さい』

四万十清流署消防隊員

『ノズルの先端付近を持った方が、ホースが暴れないので安定します。火元から3メートル程に近づいたら火元の手前を払うように消火します』



設備会社

『扉を開けたら説明が書いてあります。まずノズルを引き出して、バルブを開け、最後にノズルを開けます。できれば二人で行った方がスムーズ、迅速にできます。消火作業は、水圧が高いので重心を低くしてしっかり構えて行って下さい』

今回は、新型コロナウイルスを考慮し、規模を縮小しての訓練となったが、各人、起こりうることを十分考慮して避難することが最も大切であるとの認識をもちました。

褥瘡対策チームについて

今回は当院の褥瘡対策チームの活動についてご紹介します。

■褥瘡

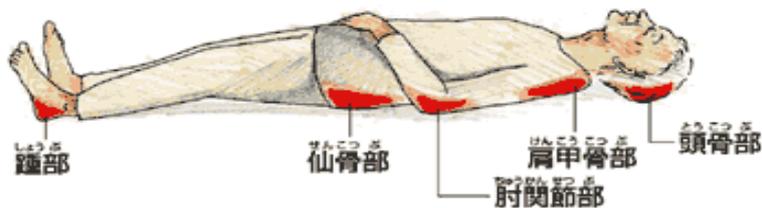
褥瘡（じょくそう）とは、いわゆる「床ずれ」のことです。寝たきりの状態や長時間くるま椅子に座り続けること等が続くと体重により圧迫された部位の血行が不良となり潰瘍を形成します。

褥瘡の好発部位は、

- 仰臥位 仙骨部、後頭部、肩甲骨部、脊柱部、肘、踵、下腿 等
- 側臥位 大転子部、肩外側、腸骨部、膝、足関節、外踝（くるぶし）耳介 等
- 腹臥位 前額部、前胸部、膝、足（特に足趾） 等

また酸素マスクやカテーテル使用中の圧迫固定にも注意が必要です

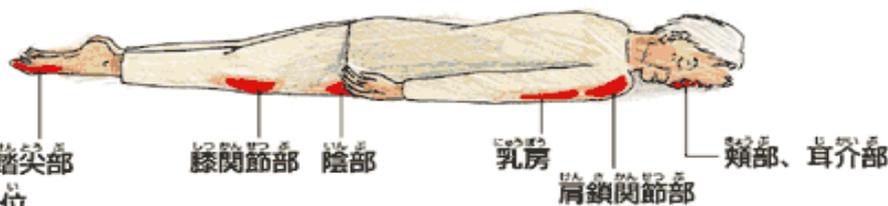
A 仰臥位（仰向き）



B 横臥位（横向き）



C 腹臥位（うつ伏せ）



D 坐位

NPO法人創傷治療センターより参照

※言うまでもなく褥瘡は一旦発生してしまうと治療までに大変時間がかかりますので、発生させない事が基本です。

■褥瘡対策チーム

褥瘡が発生する可能性の高い方に対して褥瘡予防対策を行います。またすでに褥瘡がある場合には、治療と再発予防に努めます。褥瘡対策は多職種が協力し総合的な取り組みがあって最も効果的なものとなります。

チームは医師・看護師・栄養士・薬剤師等の多職種で構成され、各職種の専門性を生かした多面的で総合的な、より質の高い褥瘡予防ケアの実現を目指しております。

■メンバー構成

当院の褥瘡対策チームの構成は以下の通りです

- 医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師
- それぞれ専門の視点から意見を出し合い協議し褥瘡対策に関わります。

■活動内容

1. 褥瘡に関する危険因子の評価を行い、対策の必要がある方へ褥瘡治療計画を立案し実施する
 - 危険因子の評価を行い、予防やケア方法の計画を立案します
 - 創周囲のスキンケアについてのケアプランを作成します
 - 具体的な体位転換の方法、ポジショニングについての計画を立案し実施します
2. 褥瘡回診及びカンファレンスを行い、褥瘡治療を妨げる要因を明らかにし適切な治療やケアを実施する
 - 毎週月曜日：褥瘡回診（高知大学医学部附属病院より外科医師の診察）
 - 褥瘡の評価（局所治療・創の深達度分類等）
 - 適切な軟膏・創傷被覆材の選択と評価
 - 褥瘡治癒後の再発予防を検討
 - 必要時は栄養サポートチームとの連携



褥瘡回診の様子

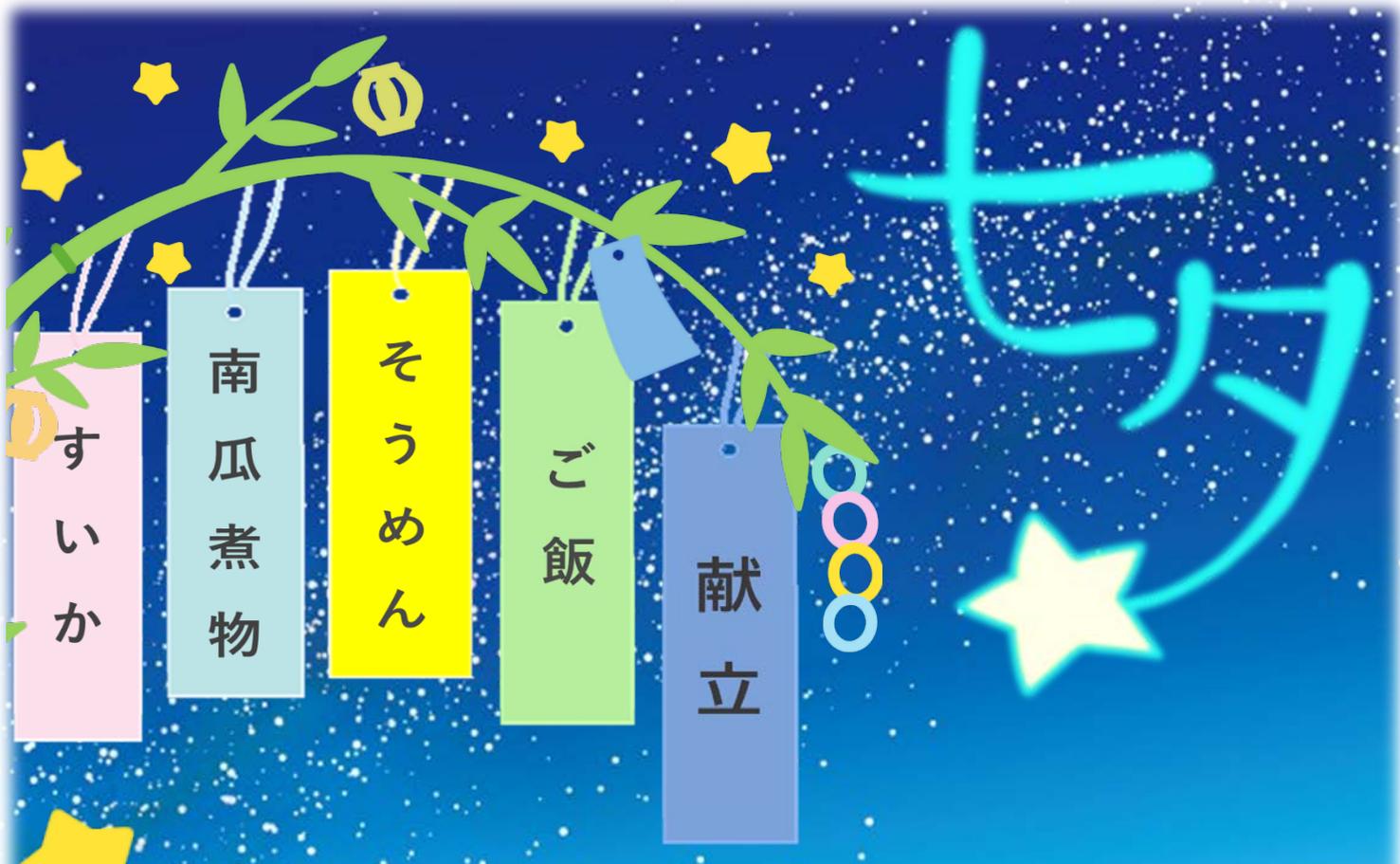
3. 体圧分散寝具（マットレスなど）の整備を行い、療養環境を整備
褥瘡ケアに必要な療養環境が提供できるよう、病院全体で対応しています。
4. スタッフ教育のための研修会の開催
年1回以上、最新のケア方法等について研修を積み重ねています。
5. 褥瘡対策マニュアルの作成とラウンド
ガイドラインに基づき、現場で活用できる褥瘡対策マニュアルやポジショニングマニュアルの作成と改訂に努めています。

■褥瘡対策委員会

月1回委員会を開催し、院内の褥瘡発生数や褥瘡有病率・褥瘡発症率の調査・分析・評価を行い、各医療者と協働し、褥瘡を予防するための適切な対策を推進しています。

私たち褥瘡対策チームは褥瘡発生ゼロ、また、褥瘡の早期改善・早期治癒を目指して、今後もチームで協力し、より効果的な対策ができるよう努力を続けて参ります。

看護課長 三宮佳奈



今回はそうめんを提供しました！



ひなた便り



7月7日は七夕さま、デイサービスひなたでは利用者様と七夕飾りを手作りして楽しみました。当日はあいにくの雨となってしまいましたが、織姫様と彦星様は雲の上で無事に逢うことが出来たでしょうか？



笹飾りの製作中。
皆で手作りしました！



さあて、
何が出来るかな？



みんなで記念撮影！
今年もみんなで七夕が
出来ました！



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町6番12号
TEL.0880-22-1191 / FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp